

も く じ

1. 第13回多々良川シロウオ放生祭&菜の花まつり 公長代理挨拶 高原 勲 ……	1
1. 多々良川にシロウオを呼び戻す会の皆様！ 福岡誠ライオンズクラブ会長 吉峯 一光 ……	3
1. 今期のあゆみ(平成17年7月～平成18年6月) 事務局 ……	4
1. ヤナ漁観察報告 常任幹事 高原 勲 ……	9
1. 多々良川シロウオ産卵状況 元九州大学大学院農学研究院 松井 誠一 ……	14
1. 清掃活動・ヤナかけに参加して 中園 益生 ……	23
1. 多々良中学1年3組総合学習社会人講話感想文 ……	24
1. 多々良川ゆめづくりリバースクールに参加して リバーナース 天本 豊子 ……	30
1. 魚 影 ……	32
1. ボートレース案内 ……	33
1. 今期の主な活動計画 ……	34
1. 菜の花音頭 ……	35
1. 会 則 ……	37

誓いのことば

『私達は多々良川を愛し
シロウオを愛し 自然を愛し
やさしい環境作りに努めます』

表紙写真：誓いのことばをのべる土井ベアーズの中学生達

第十三回放生祭&菜の花まつり

会長代理挨拶

常任幹事 高原 勲

本日の第十三回シロウオ放生祭・菜の花祭りに際しまして、一〇〇名の方にお葉書で一案内いたしましたところ、このようにご参加いただき有り難うございました。

この会は、昭和二十年代以前のように、多々良川にシロウオを呼び戻そうと、平成六年一月に発会式を行いました。現在は病氣療養中の川添会長、同じく八比呂中の柳田事務局長の熱心なお祈りと、当初より相談役としてご支援いただいた九州大学でシロウオ博士として日本の第一人者であります松井誠先生の献身的なご指導で今日に至っております。平成六年より毎年一回以上の座間場周辺の河川の清掃活動を地域の皆様と共に、一〇四月にかけて観察会を行ってまいりました。

去る三月二十六日の本年三回目の観察会には、土井ベアーズと青少年野球チームの中学生やそのご父兄、宇美川クワインクラブの会の皆様方にもご参加いただきましたが、多くのシロウオを観察することができました。

ところで、シロウオを呼び戻すと共に流域に少しでも菜の花を咲かせてシロウオを歓迎しようというところもあつて当初より、菜の花を育てる会の活動も合わせて行つてまいりました。

福岡県は明治・大正・昭和の四十年間に渡つて菜種油の生産量日本一の記録が九大農学部にあるそうですが、中でもこの地域は一大生産地となつていました。このようなわけで、シロウオさんには菜の花が似合ひの花だと思ひます。昨年収穫しました菜種をご希望の方には後ほどお配りいたしますので、月初旬頃種まきし、十二月中旬頃10×15cm位になつてから20cm間隔くらいに間引きして、育てて下さい。

ところで、私たちが関心を持っていますこの多々良川の環境問題に対しまして、東区役所企画課内に「多々良川夢プラン委員会」が発足され、当会よりも三名が参加しております。地域の自治連合会や川に関わりを持って活動をされている地域ボランティア団体の方が一緒になつて、多々良川について多くのことを学び交流を深め、多々良川の自然を大切にしていこうとしていこうという活動も始まりました。

一昨年策定されました東区基本計画の中に、多々良川を東区の住民に潤いを与える自然環境として大切に生かしていくことが盛り込まれています。その具体的な一つに、例えば「シロウオが一〇〇万匹以上溯上するようなきれいな川にしよう」と記

八方所程で右の裏側に生み付けられているのを確認できましたので、今年も多くのシロウオが、産卵に溯上してきたものと期待いたします。

二月十五日に仕掛けた観察用のやなには、多い日で四十五匹が捕獲されています。四月に行われます松井先生の羽塊調査の結果が楽しみです。

松井先生のこの学術調査では、平成十五年には総卵塊数が五十二万九千五百五十七個となり、オスとメスの二匹をかける一〇五万九千匹となり一〇〇万匹以上のシロウオさんが戻ってきたことにより大いに喜びました。

この数は、昨年、一昨年と少し減りましたが、平成七年の八万八千匹から比べると、多々良川にシロウオが戻つてきているという確かな手ごたえを感じることが出来ます。まことにうれしい限りで本日も参加の皆様方の暖かいご支援の賜物と共に喜びたいと思ひます。

この水槽の中に今年捕獲したシロウオがいますが、後ほど皆さんと共に川に戻し、来年も多くのシロウオがこの川に戻つてくよう祈りたいと思ひます。

一方で菜の花祭りということでございますが、シロウオが産卵に溯上してくるこの季節には、多々良川流域一帯は一面菜の花の黄色のじゅうたんが敷かれたように菜の花栽培が盛んなと

されました。大いに期待したいものです。

最後になりましたが、今後ともシロウオ溯上のためのボランティア活動を皆様と共に、また行政の方も借りて行きたいと思ひますので、なるべくご支援、ご協力のほどお願いいたします。

なお、後ほど川のほうに移動してシロウオを放流いたしますが、その後で好評で恒例となつております「壬さん亭の水餃子」を用意いたしましたのでございます。食べながら、ごゆっくりご歓談下さい。本日は有り難うございました。

(四月二日 第十二回放生祭&菜の花まつりより)



今年、多々良川に関わって学んだ事

福岡誠ライオンズクラブ会長 吉 峯 一 光

麗らかな日差しの中、両岸には菜の花が咲き乱れ、走り回る子供たちの歓声が溢れ、春の色が其処かしこに濃くなりはじめた頃、川面を渡る川風の心地良さに日々の喧騒から逃れ、一瞬我を忘れそうになったその瞬間、水面を乱す句千、何億ともつかぬ半透明の魚群が川上めざして突き進む様を目の当たりにした流域の人達は、あゝこれで多々良川もやつと自然に戻れたんだな、「川を愛し、シロウオを愛し」、自然を愛し、やさしい環境作り」に努めて来た事が決して間違いではないか？ たんだなと、いつの日か改めて思われる事でしょう。

この夢の様な風景になるには何年かかるか、また、なれるのかは誰にも解りません。しかしこの夢、この思いをずっと持ち続け努力して行く事が一番大切な事の様に思います。

本来、川は昔から流域の人々に恵みをもたらす存在であり、動植物の生命維持、全てに対するエネルギーの根源としての機能を持つていたはず。しかし、いつの頃からか人々が文明的な生活を求め、都市が近代化して行く影でひっそりとその機能を

失って行き、シロウオをはじめ生命力の弱いものから姿を消していったのでしよう。そして人々は失ったものの大きさに気づき本来の姿、機能に戻そうと取り組まれ、「多々良川にシロウオを呼び戻す会」を発足させ、素晴らしい成果を上げておられる事は衆知の事実です。年々産卵への週上数が確実に増加している事は、貴会の30頃の御努力の賜物とお喜び申し上げます。

また、私達福岡誠ライオンズクラブも環境保護や青少年健全育成アクティビティの一環として河川敷産卵場の毎年の清掃やゴムボートレース大会への賞品提供等、些少なりとも御支援させて頂いた結果と会員一同喜びに堪えません。

また、歴史上の重要な舞台としても度々登場する多々良川とその周辺域。その昔(西暦600年代)川砂に大量の砂鉄が含まれていた為に鑄造技術が発達し、多くの鑄物製品が当地から産み出されて国内はもとより、海外にも渡って行った事を思うと多々良(タタラ)の名が付けられたのも至極当然の事だったのでしよう。小生がライオンズクラブに入って初めて河川敷清掃に長靴を履いて入った瞬間、流れに足を取られ思わず・・・を踏んでしまったのを昨日の事の様に覚えています。

「けつして大きくはない多々良川、しかし偉大な多々良川」会の益々のご発展と共に流域の皆様方の御健勝、御活躍をお祈り申し上げます。

今期のあゆみ

平成十七年七月
平成十八年六月

多々良川にシロウオを呼び戻す会の活動も足かけ十四年になりました。

この一年間も多くの方々にご支援・ご協力賜りました事に厚くお礼申し上げます。

今年の多々良川のシロウオの産卵状況は、観察会でも多くのシロウオを肉眼でき、松井先生の学術調査への期待が高まりました。

観察用のヤナ漁では仕掛けが不十分で多くのシロウオが逃げてしまいましたが、四月に実施されました松井先生の平成十八年度多々良川シロウオ産卵量調査によりまずと期待に違わず、五万九千九百四匹塊といううれしい数値が発表されました。これは昨年の二十八万匹塊の約二倍という数値となり、三年前の記録と同じく百万匹以上が帰って来た事になります。今後とも地域住民の方々とともに川をきれいに守っていききたいものです。

以下この一年間のあゆみをまとめました。

◆(平成17年7月10日)

機関誌「米いらいシロウオ第十二号」発行

多々良川流域の小・中学校や子供会・公民館・東区役所・福岡土木事務所・多々良浄化センターなどの行政機関およびシロウオクラブ員に配布。A〇〇部印刷。

◆(8月2日)ボートレース大会PR

多々良・若宮両校区の子供会育成連に、ポスターなどの掲示を依頼。

◆(8月21日)第10回夏休みボートレース大会

あいにくの雨降りで増水の為やむなく中止しました。それでも会場にいられた約50名の方々には福岡誠ライオンズクラブ提供の沢山の賞品を同クラブの亀田幹亨さん司会でジャンケンゲーム等により寄贈されました。

◆(8月28日)多々良川ゆめプラン委員会

東区役所企画課を事務局に、鈴木、吉崎さん、川平さん、良川ゆめプラン委員会が、16年7月6日に発会式をしました。当会顧問の松井誠一先生を委員長に、多々良川流域の多々良・名島・松島校区の各自治連会長、久山町粕屋町の企画課、当シロウオクラブからも委員会に二名が招聘されて

います。

今年夏の企画会議がありました。昨年とは5回のワークショップが開催されましたが、今年は一多々良川リバー・スクールとして全6回の勉強会等の打合せがありました。初夏に収穫した菜の花の種を参加者に配布。

◆(10月16日)

シロウオ産卵場清掃

来春の産卵の為の産卵場の清掃を行いました。地元自治会の皆様とともに福岡誠ライオンスクラブの方にも国際奉仕デーの一環として多数参加いただきました。日本ボイズ・スクワッドの土井ベアーズの中学生もご父兄とともに多数参加され、相大ゴミ、燃えないゴミ、燃えるゴミ等、トラック一台分の量を回収。



◆(11月3日) 菜の花を育てる会にて種まき

菜の花の里移殖用とプランター約百鉢分の苗を育てる為高原さん宅で種まき。

◆(11月13日) 第一回「多々良川リバー・スクール」

東区役所講堂において「川について学ぶ」というテーマで九州大学の島谷幸宏教授のお話を聞きました。

◆(12月4日) 第二回「多々良川リバー・スクール」

多々良川の浄水場において「多々良川の水と私たちの生活」というテーマで森崎芳秀場長の話を聞き私達が毎日使っている水道水の施設見学をしました。日夜苦勞されて作られている水道水をいかに大切にしなければならぬかを実感しました。西戸崎に稼働しています海水の淡水化装置による真水を1日もここに送水されて、多々良川の水とブレンドされ私達に給水されているそうです。

◆(1月23日) 年間活動計画検討会・幹事会

二月からの観察会以下の年間活動計画作成。

◆(1月24日) 放水のお願い

今年も真水の水流が保たれるよう、津屋堰からの放水を市水道局多々良浄水場へ文書で要請。

◆(1月29日) 第四回「多々良川リバー・スクール」

◆(2月12日) 観察用のヤナかけ・第一回観察会と河川清掃

観察用のヤナかけは、清掃に参加した有志で作業をする。昨年のヤナかけの道具を補修して設置。本日の観察結果ではシロウオの姿を視認できず。

◆(2月10日) 室見川し

らうお開き

(室見川のシロウオは地方名としてしらうおと呼びなされている。)小春にて室見川のしらうお祈願祭が行われる。今年の室見川のシロウオの漁獲状況などは本誌16頁、松井先生の論文にあります。



◆(3月12日) 第二回観察会

小雨まじりの曇天で参加者は12名と少なかつた。水温は9度と高くなつてきていたが、卵塊は発見できなかった。しかしシロウオの逃げていく姿は散見されていたので期待はもてそうだという感じはあつた。

◆(3月26日) 第三回観察会

宇美川クレーンアップの会より約10名参加されるなどで多数の参加があつた。あちらこちらで左の裏側に産みつけられた、シロウオの卵塊が発見された。初めてみるシロウオの卵に大感激されていたのが印象的であつた。

◆(3月21日)

会計監査と役員会

第十三回シロウオ放生祭&菜の花祭りの計画会議。広報活動はすでに2月に行つており、出席数等の確認を行う。



◆(4月2日)

第十三回シロウオ放生祭&菜の花祭り

小雨であつたが、保存飼育していた多々良川産のシロウオ合計約二百匹を川に戻す。土井ベアーズより今年も多数参加。恒例の王さんの水ぎょうさをいただきにぎやかに懇談する。



◆(4月14日) やる気応援事業申請書提出

過去7年間継続して支援していただいた東区役所のまちづくり支援事業が終了し、代わつて16年度よりやる気応援事業としてその活動への補助金の制度が変更。18年度もやる気応援事業への補助金の申請書を提出。

◆(4月7日) 多々良川シロウオ産卵調査

当会顧問の松井誠一先生は三月末で九州大学を定年退官されましたが引き続き學術調査(詳細は14頁、18頁)が行われ、統計処理の結果、一〇五万匹の親魚数であつた。過去最高の三年前と同程度の数



値を達成。

◆(5月7日) 菜種とり

高原幹事宅と菜の花の里碑の菜の花より菜種約一升分を収穫。

◆(5月28日)

来い来いシロウオ第十三号企画・編集会議及び年間活動計画見直し

◆(6月5日) 第二回編集会議

◆(6月15日) 第三回編集会議

第一回原稿入り。6月21日を目処に最終原稿の整理。

◆(6月21日) 原稿人稿完了・再校のうえ、7月15日発行

◆(7月1日)

多々良川夢プラン委員会

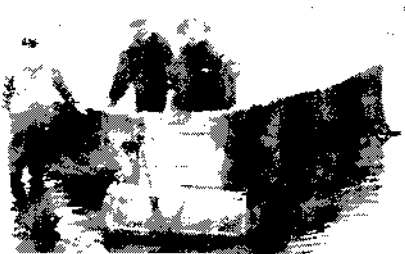
本年度の事業・企画会議が開催される。

今年のヤナ漁について

高原 勳

昨年は一五一匹の捕獲でしたが、今年は二六五匹と少し増加しました。ヤナとドラムの取付口に富永さんからゴムを張つて戴いたおかげでした。今年は雪や雨も多くかちめも多く見られましたので、シロウオが沢山産卵していると思えます。

平成十五年の「三二台とわたの」に比べて、比較的るとヤナ漁も専門的な技術が必要であると感じました。他に感じる事は大橋の直ぐ下に夫(一)部ヤナが引かれていました。事業と松崎産のヤナをえ、土音の田崎下水ボート場近くの波菜があつたヤナとまき音が際つても水音が低い口が多いことでした。



【表2】

平成17年度 観察用ヤナ漁シロウオ捕獲数

月日	曜	潮	時間	水温(℃)	遡上数
2/13	日	中	15:00	11	(ヤナかけ)
14	月	中	7:00	10	3
15	火	小	7:30	11	7
16	水	小	8:00	11	12
17	木	小	8:00	10	9
18	金	長	13:00	12	6
19	土	若	13:00	12	13
20	日	中	14:00	13	12
24	木	大	16:00	12	6
26	土	中	17:00	12	5
3/1	火	中	18:00	13	6
4	金	小	8:00	14	7
5	土	長	10:00	15	10
6	日	若	13:00	14	8
9	水	大	15:00	13	5
11	金	大	16:00	12	3
13	日	中	17:00	15	10
16	水	小	19:00	14	12
20	日	小	13:00	15	8
22	火	中	14:00	17	9
				合計	151匹

【表1】

平成18年度 観察用ヤナ漁シロウオ捕獲数

月日	汐	捕獲数	水温	天気	時間
3/11	中	2	8	晴	14.18
12	中	0	9	雨	14.45
13	大	5	8	晴	15.13
14	大	24	12	雪	15.40
15	大	9	13	雪	16.08
16	大	0	12	雨	16.35
17	中	0	12	曇	17.03
18	中	0	9	晴	17.31
19	中	5	12	曇	18.02
20	中	14	13	晴	19.22
21	小	9	13	曇	20.30
22	小	0	15	雨	7.45
23	小	5	13	晴	11.02
24	長	2	14	曇	12.46
25	若	30	15	晴	13.40
26	中	45	14	晴	14.24
27	中	11	14	晴	15.06
28	大	5	15	雨	15.47
29	大	10	18	晴	16.28
30	大	13	17	晴	17.09
31	中	29	16	晴	17.50
4/1	中	11	15	曇	17.30
2	中	16	15	雨	17.50
3	中	25	14	晴	19.17
		合計	265匹		

【表4】

平成15年度 観察用「ヤナ漁」のシロウオ遡上調査数

平成15年2月16日(ヤナ掛け)		4m幅観察用ヤナ漁			
月	日	天気	潮位	水温	数量
2	16	晴	大	11℃	10匹
	17	晴	大	18℃	1合5
	18	晴	大	17℃	2合5
	19	曇り	中	15℃	3合
	20	曇り	中	10℃	3合
	21	晴	中	12℃	3合
	22	晴	小	10℃	5合
	23	晴	小	12℃	2合
	24	曇り	小	12℃	6合
	25	晴	中	13℃	1合5
	26	曇り	中	14℃	2合
	27	晴	中	16℃	3合
	28	晴	中	16℃	4合
3	1	晴	大	12℃	2合
	2	晴	大	14℃	3合
	3	晴	大	11℃	1合
	4	晴	大	10℃	2合
	5	晴	中	9℃	2合
	6	晴	中	8℃	1合
	7	晴	中	10℃	2合
	8	晴	中	10℃	1合5
	9	晴	小	10℃	3合
	10	晴	小	15℃	1合
	11	晴	小	11℃	2合
	12	晴	小	12℃	2合
	13	晴	中	14℃	150匹
	14	晴	中	14℃	1合
	15	晴	中	13℃	100匹
	16	晴	大	12℃	1合
	17	晴	大	13℃	1合
	18	晴	大	14℃	4合
	19	晴	大	14℃	4合
	20	晴	中	15℃	5合
	21	晴	中	15℃	4合
	22	晴	中	15℃	4合
	23	晴	小	15℃	3合
	24	晴	小	14℃	2合
	25	晴	小	15℃	1合
	26	晴	小	17℃	50匹
	27	晴	小	17℃	30匹
	28	晴	中	18℃	2合
	29	晴	中	18℃	6合

【表3】

平成16年度 観察用「ヤナ漁」のシロウオ遡上調査数

平成16年2月15日(ヤナ掛け)		4m幅観察用ヤナ漁				
月	日	天気	潮位	水温	数量	採集時間
2	15~18	晴	長	9℃	0	12:00
	19	曇	大	10℃	7	15:00
	20	晴	大	9℃	0	16:00
	21~23	晴	中	10℃	0	17:00
	24	晴	中	8℃	2	18:00
	25	晴	中	8℃	3	7:00
	26~28	晴	小	9℃	0	7:15
	29	晴	小	9℃	9	7:20
3	1~4	晴	中	10℃	0	13:00
	5	晴	大	15℃	1	15:00
	6	晴	大	12℃	1	15:30
	7	晴	大	12℃	1	16:00
	8~10	晴	中	13℃	0	17:00
	11	晴	中	18℃	1	18:00
	12	晴	小	13℃	1	19:00
	13	晴	小	20℃	2	19:00
	14~18	晴	中	18℃	0	8:00
	19	晴	大	20℃	2	15:00
	20	晴	大	18℃	1	15:30
	21	晴	大	20℃	1	16:00
	22	晴	大	18℃	1	17:00
	23	晴	大	17℃	2	17:00
	24	晴	中	18℃	2	18:00
	25	晴	中	20℃	1	19:00
	26	晴	中	18℃	1	19:00
	27	晴	中	18℃	1	19:00
	28	晴	小	20℃	1	7:00
	29~31	晴	小	20℃	0	13:00
4	1	晴	中	20℃	2	13:30
	2	晴	中	19℃	4	14:00
	3	晴	大	18℃	1	15:00
	4	晴	大	20℃	0	15:10
	5	晴	大	20℃	0	16:00

【表5】

平成14年度 観察用「ヤナ漁」のシロウオ遡上調査数

平成14年2月24日ヤナ掛け		1m幅観察用ヤナ漁		数量	
月日	天気	水温	時間	潮位	
2/25	晴	19℃	15:09	中潮	1合
26	晴	18	17:00	大潮	50匹
27			夜の雨にてヤナ流れる		
28					
3/1					
2	くもり	16	16:00	中潮	50匹
3	晴	17	17:00	中中潮	1合
4	晴	17	17:00	中中潮	3合
5	雨	16	17:00	中小潮	2合
6			雨にてヤナ流れる		
7					
8					
9	晴	16	12:30	若中潮	1合
10	晴	14	13:00	中中潮	5合
11	晴	15	15:00	中中潮	5合
12	晴	14	15:30	中中潮	3合
13	晴	15	16:00	中中潮	8合
14	午後小雨	14	16:00	中中潮	1合
15	くもりのち晴	14	16:00	中中潮	1合
16	晴	17	16:00	中中潮	3合
17	晴	16	16:00	中中潮	30匹
18	晴	15	16:00	中中潮	20匹
19	晴	15	17:00	中中潮	0匹
20	晴	15	17:00	中小潮	0匹
21	雨のちくもり	14	17:00	中小潮	0匹
22	雨	13	17:30	小長潮	0匹
23	晴	13	17:00	小長潮	0匹
24	うすくもり	13	13:00	若中潮	1合
25	晴	14	16:00	若中潮	30匹
26	くもり	15	16:00	若中潮	10匹
4/4	徹取				0匹

平成十八年のシロウオ産卵量

呼び戻す会顧問
元九州大学大学院農学研究院 教授 松井 誠一

九州北部の河川に遡上するシロウオの産卵期は3月末から5月上旬のため例年、産卵量とその水質等の環境調査をその盛期である4月中旬に行っていました。今年も3月の気温上昇が早く、桜の開花も3月下旬が予測され、4月上旬にはシロウオが十分に産卵していると判断されたので4月7日からの大潮時期を調査時期としました。

調査場所は、過去のシロウオ卵の分布状況に基づいて例年通り河口から上流4km500地点（津屋瀬）から下流560mの区間としました。この区間に川を横断する形で20m間隔の調査ラインを29本設定し、ラインとラインの間を調査区域として基本的には各ライン上で4〜6点の調査場所を設けました。各点で50×50cmの枠内から深さ約15cmまでに埋もれた石を取り上げ、石の下面に産み付けられたシロウオの卵塊を計数し、位置をずらして各点で3回

計数しました。なお、卵塊がこの枠内で10以上出現した時には資源保護のためその時点で面積を求め、比例計算して枠内の卵塊数としました。すべての調査点における3回の0、25、50%の平均卵塊数を図1に示しました。各区域内で実際に産卵している水域の面積（産卵面積）を測定し、各区域の総卵塊数は産卵面積にその中の平均卵塊数を乗じて求めました。シロウオが雌雄一対で一生涯に一回の産卵を行うので、遡上親魚数は卵塊数に2を乗じて求めることができます。また、1卵塊の平均卵数は約50粒ですので総産卵数を計算する場合にはこの値を乗じると算出されます。

調査ライン間の区域番号、各区域で卵塊が発見された総面積（産卵面積）と非干出面積、卵塊数、卵塊出現点数と調査点数、区間総産卵数および産卵親魚数について本年度結果を表1に示しました。なお、備考として区間内に不連続の産卵域があった場合は区別してそれぞれの面積を示しています。今年の非干出面積は30、031㎡、その内、産卵面積は22、835㎡、総卵塊数は519、964、総産卵数は1卵塊の卵数を500粒として2億5998万粒でした。卵塊は調査区域1、23区域の

広い範囲に亘って出現し、とくに10〜15区域を中心に各区域4〜7万卵塊、2〜18区域でも1万卵塊以上でした。最も高密度であったのは区域11で、平均11,86卵塊でした。比較的産卵量の多かった地点の水深は10〜30cmで程度で、やや流れのある瀬や淵の浅い所でした。産卵量の多い区域の上位5はほとんど例年と同じですが、産卵場の上流端と下流端の位置は、河川流量の多少によって年変化し、調査時期によって早期か遅い時期かによって位置が変わります。すなわち、産卵場は、シロウオの産卵は上流から始まるので早い時期に調査すると上流部ばかりで卵塊が出現し、遅い時期に調査すると上流より下流の方が多く出現します。また、産卵期の河川流量が多い年の産卵場は下流部に、少ない年は上流部に形成されます。この数年間、シロウオ遡上期および産卵期の流量については堰からの放水が絶えることなく、さらに広域下水処理施設からの高度処理水の放水もあるので問題ないと考えられますが、近年の気象状況の変化の著しさがシロウオの産卵盛期を的確に予測できず、産卵量の変動に影響していることが懸念されます。

実際に産卵のあった面積は3年前がその非干出面積の約3倍、一昨年は2倍、昨年は1.5倍、今年も1.5倍と増加傾向がみられます。これは昨年と同様に、河川改修後、増加傾向があります。以上のように今年の博多湾流入河川におけるシロウオの産卵数は、昨年と比べて、河川により大きく傾向が異なり増加傾向は多々良川、那珂川、樋井川、金澤川、端梅寺川であり、室見川と十郎川は減少しています。また、今年から調査した周船寺川、香椎川と唐原川でシロウオの産卵が確認されました。

博多湾流入の他の河川におけるシロウオの遡上、産卵状況に触れてみると、室見川では昨年の産卵量は一昨年の約10倍(888,000卵塊)に増加しましたが、今年も昨年と同程度の漁獲量があったものの産卵量は再び一昨年(81,000卵塊)とほぼ同じ量(82,500卵塊)でした。樋井川では、調査時期が早期であったためか発見された卵はまだ産卵間もない卵内発生段階ものがほとんどで量的にも前年の55%(27,200卵塊)でした。

金澤川でも流量は多かったが、樋井川に比べ、発見された卵の卵内発生段階は進んだものが多く、孵化間際のものが多かったものの、まだ産卵直後卵も見られ、本年のシーズンを通した産卵量がとくに多くなったことが予測されます。すなわち昨年の約24,600卵塊に対して51,700と早期に調査したにも関わらず2倍以上でした。端梅寺川では6年前から再び出現し、平成十四年3,800卵塊、十五年約2,100卵塊、十六年700卵塊、十七年2,800卵塊が、今年も5,250卵塊でした。十郎川では4月11日と27日に調査しましたが、前者ではま

47.0%、一昨年は58.1%、昨年は66.2%であったのに対して今年も76.0%と非干出域の広い範囲で年々有効に産卵が行われています。総卵塊数では順に5年前58,046、4年前116,001、3年前529,557の増加傾向から2年前の345,312、昨年の24,820と減少傾向となり、心配されましたが今年ほぼ3年前の多々良川における最高値に近い値まで回復し、その量は昨年の1,86倍となりました。

多々良川では、下水処理水により不足する河川流量を補い、シロウオの遡上量増加を図る計画を実施し、その成果を上げつつありますが、その量は不安定で、まだ十分でなく、遡上時期に合わせて津屋堰からの十分な放水が当面の間必要でしょう。今年も気温および水温の上昇が早く、早期に産卵が始まりましたが、4月の産卵期に気温低下と気象不順により水温の停滞が続き、産卵が長期に亘りました。産卵調査は4月上旬に、一回行っただけですが、念のため4月25日に同じ調査地点の敷力所で調べたところ本調査時の1.5、1.1、4の卵塊が発見されました。昨年にも述べましたが、気候変動の影響排除や正確な産卵量および遡上量を把握するためには、1回の調

査結果に頼るのではなく3回以上行うことが必要となるでしょう。

博多湾流入の他の河川におけるシロウオの遡上、産卵状況に触れてみると、室見川では昨年の産卵量は一昨年の約10倍(888,000卵塊)に増加しましたが、今年も昨年と同程度の漁獲量があったものの産卵量は再び一昨年(81,000卵塊)とほぼ同じ量(82,500卵塊)でした。樋井川では、調査時期が早期であったためか発見された卵はまだ産卵間もない卵内発生段階ものがほとんどで量的にも前年の55%(27,200卵塊)でした。金澤川でも流量は多かったが、樋井川に比べ、発見された卵の卵内発生段階は進んだものが多く、孵化間際のものが多かったものの、まだ産卵直後卵も見られ、本年のシーズンを通した産卵量がとくに多くなったことが予測されます。すなわち昨年の約24,600卵塊に対して51,700と早期に調査したにも関わらず2倍以上でした。端梅寺川では6年前から再び出現し、平成十四年3,800卵塊、十五年約2,100卵塊、十六年700卵塊、十七年2,800卵塊が、今年も5,250卵塊でした。十郎川では4月11日と27日に調査しましたが、前者ではま

表1 平成18年多々良川シロウオ産卵量調査結果

調査日 平成18年4月7~9日

区域	産卵面積 (*1) (m2)	出現平均卵塊 (*2)の総数	出現点数(*3)	総卵塊数	産卵親魚数	備考*4 産卵面積
1	960 (1,560)	2.7	5 (8)	1,532	3,064	380+580
2	915 (1,295)	19.6	7 (10)	10,312	20,624	115+800
3	1,000 (1,185)	36.0	7 (9)	20,560	41,120	1,000
4	980 (1,140)	39.7	6 (8)	25,952	51,904	980
5	930 (1,080)	47.0	6 (8)	29,128	58,256	930
6	925 (1,025)	40.4	7 (9)	21,452	42,904	125+800
7	950 (1,270)	33.1	7 (9)	17,596	35,192	150+800
8	840 (1,240)	31.7	6 (8)	17,740	35,480	840
9	1,340 (1,600)	37.0	9 (11)	22,028	44,056	1,340
10	1,440 (1,640)	69.0	8 (8)	49,708	99,416	1,440
11	1,430 (1,500)	83.0	7 (8)	67,840	135,680	1,430
12	1,412 (1,433)	74.3	8 (10)	52,468	104,936	1,412
13	872 (1,072)	73.0	9 (11)	29,028	58,056	350+522
14	1,529 (1,629)	84.0	10 (11)	53,812	107,624	200+1,220+100+9
15	1,450 (1,550)	94.0	12 (12)	52,284	104,568	160+10+630+650
16	1,362 (1,712)	53.4	13 (13)	24,156	48,312	32+860+470
17	1,140 (1,540)	24.1	12 (12)	11,300	22,600	800+340
18	1,160 (1,540)	22.0	12 (12)	10,868	21,736	850+310
19	1,170 (1,550)	4.0	10 (12)	1,284	2,568	910+260
20	420 (1,190)	1.7	6 (12)	356	712	160+260
21	220 (1,160)	1.3	3 (11)	228	456	220
22	190 (1,210)	1.3	3 (11)	196	392	190
23	200 (1,350)	1.0	3 (12)	136	272	200
24	0 (1,540)	0	0 (12)	0	0	0
25	0 (1,660)	0	0 (11)	0	0	0
26	0 (1,700)	0	0 (8)	0	0	0
27	0 (1,680)	0	0 (6)	0	0	0
28	0 (1,660)	0	0 (3)	0	0	0
計	22,835 (30,031)	873.3	176 (275)	519,964	1,039,928	-

各区の総卵塊数は、上下の境界ライン上を含む区間において実産卵面積とその平均卵塊数によって算出各域の総卵塊数=産卵面積×4×卵塊数/算出地点数で計算する。

(*1)は非干し出域面積(*2)は(N/0.25m2).(*3)は調査点数*4は産卵域の面積を示す。

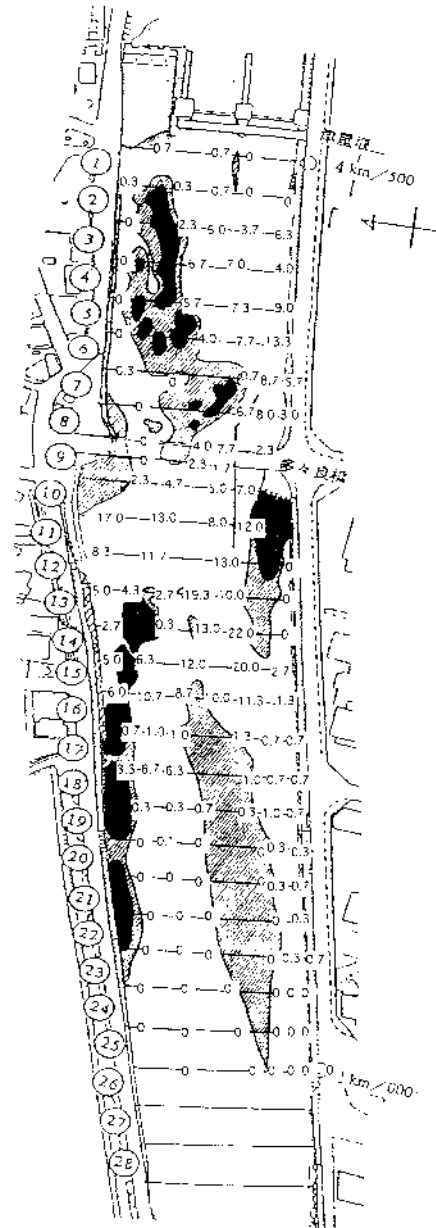


図1 調査区域と各調査点における卵塊数(卵塊/0.25m²)
斜線部は干潮時干出域

表3 平成16年多々良川シロウオ産卵量調査結果

調査日 平成16年4月6日

区域	産卵面積 (*1) (m ²)	出現平均 卵塊 (*2)の総数	出現点数 (*3)	総卵塊数	産卵親魚数	備考*4 産卵面積
1	316 (1,365)	3.3	5 (10)	765	1,530	36+90+90+30+30
2	460 (1,912)	2.9	4 (10)	1,396	2,792	90+370
3	560 (2,268)	5.6	4 (11)	3,136	6,272	560
4	555 (2,062)	13.9	6 (11)	5,418	10,836	75+480
5	590 (1,584)	26.0	8 (10)	7,800	15,600	120+380
6	426 (1,500)	19.1	7 (11)	4,170	8,340	60+360+60
7	695 (1,785)	20.0	6 (10)	5,476	10,952	300+395
8	990 (3,100)	23.6	6 (8)	11,446	22,892	400+590
9	715 (1,715)	20.0	7 (10)	8,790	17,580	690+25
10	965 (1,965)	31.4	8 (11)	15,165	30,330	120+770
11	1,100 (3,130)	46.7	8 (11)	24,373	48,746	300+800
12	1,330 (3,370)	66.3	13 (17)	23,514	47,028	1330
13	1,030 (2,080)	41.8	8 (11)	16,747	33,894	670+360
14	640 (1,640)	142.1	10 (11)	44,924	89,848	330+100+120+80
15	1,025 (1,025)	240.0	13 (14)	58,613	117,226	227.5+657.5+130
16	1,484 (2,484)	189.9	12 (14)	95,797	191,594	90+730+604
17	856 (1,856)	27.2	10 (11)	8,509	17,018	308+548
18	700 (1,700)	20.3	8 (10)	6,136	12,272	300+400
19	770 (1,770)	5.3	4 (10)	1,769	3,538	360+410
20	390 (1,830)	1.0	2 (10)	260	520	390
21	340 (1,810)	1.7	2 (11)	385	770	340
22	220 (1,770)	3.4	3 (11)	499	998	220
23	140 (1,810)	2.1	2 (10)	224	448	140
24	0 (1,950)	0	0 (10)	0	0	0
25	0 (1,060)	0	0 (10)	0	0	0
26	0 (1,410)	0	0 (10)	0	0	0
27	0 (1,498)	0	0 (10)	0	0	0
28	0 (1,500)	0	0 (8)	0	0	0
計	16,267 (27,919)	853.9 (155 (301))	345,312	690,624	-	-

各区の総卵塊数は、上下の境界ライン上を含む区間において実産卵面積とその平均卵塊数によって算出した。各区域の総卵塊数=産卵面積×4×卵塊数/算出地点数で計算する。
たとえば11区では150×4×13/4=100×4×7/3=2,733 (*1)は非干出域面積、(*2)は(N/0.25m²)、(*3)は調査点数、*4は産卵域の面積を示す。

表2 平成17年多々良川シロウオ産卵量調査結果

調査日 平成17年4月9,25日

区域	産卵面積 (*1) (m ²)	出現平均卵塊 出現点数(*3) (*2)の総数	総卵塊数	産卵親魚数	備考*4 産卵面積	
1	280 (898)	0.9	3 (9)	336	672	80+200
2	340 (1,131)	1.9	3 (10)	861	1,722	200+140
3	800 (1,144)	12.9	6 (11)	5,160	10320	800
4	804 (969)	26.6	9 (11)	10,360	20720	55+473+152+124
5	646 (646)	29.6	11 (11)	10,928	21856	11+63+15+136+421
6	690 (690)	31.4	10 (11)	9,388	18776	80+160+450
7	840 (940)	35.2	9 (11)	11,420	22840	190+650
8	720 (744)	39.8	8 (10)	14,328	28656	720
9	858 (858)	44.4	8 (10)	20,612	41224	28+110+720
10	1,500 (1,500)	67.1	11 (12)	36,600	73200	1,500
11	1,460 (1,568)	81.8	12 (14)	39,469	78938	1,460
12	1,210 (1,350)	75.2	13 (16)	28,708	57416	740+470
13	737 (877)	68.6	11 (14)	17,320	34640	220+120+144+253
14	1,327 (1,327)	71.4	13 (14)	26,744	53488	289+325+713
15	1,067 (1,067)	53.9	12 (12)	19,440	38880	190+477+400
16	775 (775)	40.0	11 (11)	11,030	22060	475+300
17	780 (780)	23.8	10 (10)	7,376	14752	460+320
18	920 (920)	13.3	10 (10)	4,872	9744	530+390
19	960 (960)	8.1	10 (10)	3,060	6120	540+420
20	910 (910)	6.8	9 (10)	2,460	4920	550+360
21	870 (870)	4.4	5 (10)	1,288	2576	630+240
22	200 (920)	3.7	3 (10)	740	1480	200
23	240 (990)	5.0	4 (10)	1,200	2400	240
24	270 (1,210)	2.7	3 (10)	728	1456	270
25	300 (1,310)	1.0	2 (10)	300	600	300
26	390 (1,460)	0.3	1 (11)	92	184	390
27	0 (1,617)	0	0 (12)	0	0	0
28	0 (1,600)	0	0 (12)	0	0	0
計	19,894 (30,031)	749.8 207 (312)	284,820	569640	-	-

各区の総卵塊数は、上下の境界ライン上を含む区間において実産卵面積とその平均卵塊数によって算出した。各区域の総卵塊数=産卵面積×4×卵塊数/算出地点数で計算する。
たとえば14区では190×4×8.7/2+477×4×27.1/5+400×4×18.1/5=19,440 (*1)は非干出域面積、(*2)は(N/0.25m²)、(*3)は調査点数、*4は産卵域の面積を示す。

表5 平成14年多々良川シロウオ産卵量

調査日 平成14年4月9日

区域	産卵面積 (*1) (m ²)	確認卵塊数 N<0.25m ²	出現点数 (調査点数)	総卵塊数	産卵親魚数 (雄+雌)
1	633(1013)	3	2(16)	32	64
2	233(167)	2	1(16)	16	32
3	631(108)	5	3(18)	40	80
4	225(1,204)	11	6(16)	1,909	3,818
5	323(1,812)	19	8(16)	1,124	8,218
6	831(201)	1	1(16)	64	128
7	831(1061)	5	38(16)	48	96
8	201(931)	13	7(16)	128	256
9	126(990)	17	8(16)	4,140	8,280
10	230(911)	38	5(16)	6,992	13,984
11	843(1,198)	62	11(16)	19,016	38,984
12	989(1,249)	19	13(16)	14,911	29,822
13	780(1,311)	32	13(16)	7,680	15,360
14	782(1,121)	43	14(20)	9,607	19,214
15	939(1,175)	33	15(20)	13,772	27,544
16	800(1,255)	47	12(16)	12,533	25,066
17	818(930)	30	11(16)	9,251	18,502
18	382(813)	27	7(16)	5,894	11,788
19	282(797)	32	9(16)	4,011	8,022
20	182(797)	13	6(16)	1,577	3,154
21	83(780)	1	1(16)	64	128
22	0(781)	0	0(16)	0	0
23	24(797)	0	2(16)	96	192
24	10(979)	0	2(16)	64	128
25	8(1,195)	1	1(16)	32	64
26	0(1,385)	0	0(16)	0	0
27	0(1,769)	0	0(16)	0	0
28	0(1,769)	0	0(16)	0	0
計	8,137(30,680)	511	197(156)	116,091	232,002

年度	産卵面積	卵塊数	出現点数	総卵塊数	産卵親魚数
H10	1,986(21,530)	142	62	20,773	41,546
H9	2,542(28,034)	78	58(265)	11,437	22,874
H8	755(24,220)	34	23(395)	5,406	10,812
H7	15,756	185	214	48,102	96,204

表4 平成15年多々良川シロウオ産卵量調査結果

調査日 平成15年4月3日

区域	産卵面積 (*1) (m ²)	出現平均 卵塊 (*2)の総数	出現点数 (*3)	総卵塊数	産卵親魚数	備考(*4) 産卵面積
1	62(1,125)	4.3	3(8)	482	964	2+60
2	500(1,092)	10.3	6(9)	3,433	6,866	500
3	776(1,260)	21	7(10)	10,632	21,264	6+770
4	770(1,365)	73	7(10)	36,384	72,768	750-20
5	800(1,910)	70	7(9)	32,000	64,000	800
6	530(920)	24.9	5(7)	11,690	23,380	500+30
7	551(950)	60.5	6(8)	25,748	51,496	1+550
8	474(874)	98.3	8(10)	23,297	46,594	474
9	420(480)	70.6	7(8)	16,944	33,888	60-360
10	810(810)	90.3	8(8)	34,179	68,358	280-530
11	1,290(1,299)	91.7	7(7)	73,493	146,986	1290
12	1,090(1,460)	97.7	7(9)	58,490	116,980	700+390
13	820(1,200)	91.7	9(12)	33,399	66,798	370+450
14	1,008(1,218)	115	12(14)	33,919	67,838	230+8+770
15	1,160(1,140)	128	12(14)	53,800	107,600	60+100+280
16	720(1,000)	73	8(10)	27,520	55,040	400-320
17	610(970)	45	7(9)	16,350	32,700	530-60-20
18	780(1,060)	48	7(9)	24,393	48,786	430+350
19	490(890)	22	5(8)	7,280	14,560	50+440
20	390.5(840)	9	5(9)	3,122	6,244	0.5-390
21	280(810)	7	4(8)	1,960	3,920	280
22	140.5(950)	7	4(8)	937	1,874	0.5+140
23	10.5(1,200)	4	3(8)	44	88	0.5+10
24	1(1,380)	2	2(8)	4	8	1
25	10(1,350)	4	3(8)	53	106	10
26	0.5(1,300)	2	1(8)	4	8	0.5
27	0(1,120)	0	0(7)	0	0	0
28	0(1,460)	0	0(3)	0	0	0
計	14,494(30,833)	1270.3	160(246)	529,557	1,059,114	

各区の総卵塊数は、上下の境界ライン上を含む区間において実産卵面積とその平均卵塊数によって算出した。各区域の総卵塊数=産卵面積×4×卵塊数/出現点数で計算する。
たとえば11区では150×4×12/4+100×4×7/3=2,733 (*1)は非干渉域面積、(*2)は「N<0.25m²」、(*3)は調査点数、(*4)は複数の産卵面積を示す。

初めてのヤナかけ

上井田地区自治会 中 園 益 生

民謡の練習がご縁で2月28日急遽多々良川へやなかけの手伝いに出かけました。行政と地元の方々の長年の活動により多々良川にシロウオが帰る川に再生し十数年になつたと聞きました。

昔、川で魚とりをした思い出を頭に描きながらワクワクと童心に返つたような気持ちで出かけましたが、しじみが取れるんですよと言って仲間の人が川底を探し大きなしじみを見つけ見せてくれたのにはびっくりでした。以前は、沢山取れた時があつたようですが乱獲で残念ながら見かけなくなつたようです。

やなかけ作業は、例年この大潮の時期を狙つてやるのですが、そのための材料や道具は、引潮の流れや満潮の水流が早く強いいため、それに耐えるようクイは鉄筋を使用し、取り込み口を中心に左右5本ずつ1m間隔くらいの間隔に5本ずつ木杵がりにしっかり打ち込み、そ

こにネットをかけ固定し約2時間ほどで完成。曇り空のもと水の中の作業は少し寒さを感じておりましたが無事に作業を終える事が出来ました。

完成した、やなを真ん中に記念写真撮つて終了。

今年はシロウオにとつてどんな年だったんでしょか。1年間博多湾を回遊し大きくなって産卵の為、湖上して河口の汽水域と呼ばれるこの多々良川の川底の石の裏に卵を産みつけ親はふ化を確認して短い一生を終えるようですが、ふ化した稚魚たちは海へ出て育ち、その回帰率はとても少なく数%にも満たないと考えられているそうです。

小さいがゆえに、自然環境の影響を受けやすく空見川も多々良川もここ数年、量は減ってきていると聞くと博多湾の海水の水質や水温、海底の変化等シロウオにとつて厳しい自然環境が続いているのかと心配になってきました。シロウオのやなかけ体験で河口や博多湾に住む鳥や魚介類の世界を少し考える事が出来ました。来年から量が少しでも増えてくれることを願いたいものです。

多々良中学一年三組講話感想文

平成十七年十一月五日に多々良中学校で総合学習の一環として社会人講話の授業があり招聘されて、当会より出張講座に出席しました。身近な地域にある多々良川の歴史や役割、それとシロウオを呼び戻す会の活動等について同中一年三組の生徒さんにお話しする事ができました。

ご担当の東方先生にその時の生徒さんの感想文をぜひ本誌に掲載したいとお願ひしおりましたところ皆さんより感想文が寄せられましたので特集いたしました。

生活の身近にある多々良川という自然環境について多方面に興味を示してくれました。機会を与えられた多々良中学校に厚くお礼申し上げます。

深水 乃梨子

今回は大切な話を聞かせて下さつてありがとうございました。川をきれいにするためには、シロウオを戻さなければいけないという言葉に感心をもちました。ちょっとしたでも川を汚さないために自分なりに努力できたらいいなあと思つています。

升本 泉帆

今口は、お忙しい所、私達に貴重なお話をしていただきありがとうございます。私は、シロウオの事なんか全く知りませんでした。けれど、富永靖雄さんのおかげでシロウオの事がいろいろ分かつて良かったです。ありがとうございました。

藤原 明絵香

先日ほんとうもありがとうございました。これから生き物も多々良川も大事にしようと思ひます。ボイ捨てとかしている人がいたら、注意とかもします。シロウオが戻れる環境作りに私も協力します。

石川 優真

今日はお忙しい中僕たちにいろんな話をしてくれてありがとうございました。僕は全然川の事は考えてなかったけどシロウオはきれいな水の所にしかないと聞いて、僕も多々良川をきれいにしようと思いました。

池田 貴之

昔いたシロウオの事や、多々良川をきれいにしてシロウオを呼び戻そうとするためにいろんな事を教えていただいてありがとうございます。それに長い間ずっつと話をしてくれてありがとうございます。今度から地域の事を大切にします。

小田原 比奈

多々良川やシロウオの事に関して詳しくお話しして下さってありがとうございました。これからも川をきれいにしてシロウオが沢山戻ってくると良いですね。身近にある多々良川なので、きれいであった方がやっぱりいいですね。改めて思いました。

安在 彩香

この前はシロウオの事についていろんな話を教えて頂いてありがとうございました。シロウオの事をよく知る事ができました。

早瀬 泰樹

シロウオの事についていろんな話を教えて下さってありがとうございました。多々良川は汚いイメージがあったけどシロウオが来るほどきれいになっていると聞いて驚きました。僕もこれからはゴミは、ゴミ箱へ捨てるように心がけたいです。

大神 舞

土曜日はシロウオや多々良川のことについて詳しく教えて下さって、ありがとうございました。あの時の社会人講話の内容が「シロウオ」という事で教えて下さいました。今、多々良川にシロウオが戻って来た事がとても良かったと思います。

中村 雄大

先日はシロウオの事について教えて頂きありがとうございました。富永さんのおかげでシロウオについても知りたくなりました。僕自身でもシロウオの事について調べてみようと思いましたが、今度また、話してもらえそうな時間があればよろしくお願いします。ありがとうございました。

戸高 美雪

社会人講話では地域の自然の事を詳しく教えて頂きありがとうございました。特にしろうおの事を聞いて一番身近な疑問、しろうおとしろうおの違い、これがピデオを通して補足の説明の中でも分かりました。他にもボートレースの事等も教えてくれて私も多々良川がもっとキレイになるといいなと思いました。時間いっぱい、いろんな事を学びました。

松島 葉

今日は私達のためにわざわざ来て下さってありがとうございました。私は今口富永さんの話を聞いて、いろんな事を学ぶ事ができました。一番覚えていたのは「シロウオ」と「シラウオ」の違いです。何の仲間かって事で名前が違う事を知りました。私の家の近くには多々良川が流れています。私は、特に何の関心もありませんでした。でも富永さんの話を聞いて、多々良川にもすごい歴史があつてだんだんと水質も良くなってきている事を知り、少し見方も変わりました。身近でできる事をやってみようと思つたと「シロウオ」が多々良川にたくさん来るといいなあと思つています。

瀬川 翔一

僕は今口ピデオとか話を聞いて、まずボイ捨てはやっぱりいけないと思いました。それは僕たちが捨てたゴミを何もしてない人が汚い思いまでして拾ってくれてると思うと、とても悪い事していたなと思つきました。多々良川がきれいになって、シロウオが沢山生きている川になったらうれしいです。

田中 夏美

先日は私達にシロウオの事と、自然の事を教えて下さり、ありがとうございました。私は多々良川は汚く魚も

いないというイメージがありました。富永さんのお話を聞いて、キレイな川に変わっている事を聞き、うれしく思いました。

安河内みなみ

私はシロウオの事について沢山知る事ができました。シロウオの事について全然知らなかったけど、富永先生のおかげで、シロウオの事について興味を持つ事ができました。また機会があればシロウオの事について話に来て下さい。ありがとうございます。

古賀 美鈴

十一月五日の社会人講話の時いると教えていただきありがとうございます。おかげで私達は多々良川環境の事がよく勉強になったと思います。これからも頑張ってください。

石川 浩太郎

シロウオの事や多々良川の事を教えてもらい、昔と今の違い等がよくわかりました。ありがとうございます。

う働きで多々良川をきれいにしたと思いました。

大島 拓也

十一月五日にあった社会人講話でシロウオの事について教えて下さってありがとうございます。僕は社会人講話の勉強をするまではシロウオの事は全然知りませんでした。さほど勉強をしていくというんな事が分かりました。僕は、これからはシロウオの事について調べていきたいなと思いました。

秋山 宏行

この間はシロウオの事を沢山教えて頂きありがとうございます。これからも僕もシロウオの事で何かできる事があればぜひ協力して勉強します。本当にありがとうございます。

増野 祐輔

先日はシロウオの話をお聞かせ頂き本当にありがとうございます。身近な多々良川ですが、汚いとかはあまり知りませんでした。勉強になりました。いつか機会があったらシロウオ拾いに誘われて、シロウオを食べたいです。

福山 知佳

今日は、シロウオ(多々良川)について貴重なお話をさせて頂きありがとうございます。おかげで、身近な自然について知る事が出来ました。私は身近な自然こそ大切にしていきたいと思えました。これからもたくさん調査と活動を続けて下さい。

後藤 美喜

多々良中学校に来て頂きありがとうございます。私達は今もゴミをポツンポツン捨てないようしていきたいです。勉強になりました。ありがとうございます。

上山 晃大

社会人講話を聞いて、川がどんなふうになっているのか、シロウオはどういう魚かがよくわかりました。ありがとうございます。

中村 巧

今日は、シロウオの事を教えて下さってありがとうございます。一つの動きが多々良川をきれいにすると言

大家 尚太

富永先生のおかげでシロウオの事について分かりました。ありがとうございます。シロウオの事は今までシロウオという生き物がいたという事すら分かりませんでした。しかし多々良川にシロウオがだんだんと増えてきているという事が分かりました。しかし下水道を整えていなかったら確かに減っていたと思えました。ありがとうございます。

石川 拓也

僕はシロウオという魚を聞いたのが始めてで何も分からなかったけど、いろいろと分かりやすく教えて頂いてありがとうございます。

船津 宏真

今回は貴重な話を聞かせて頂き、ありがとうございます。シロウオの事について多々良川について色々ためになりました。今後、多々良川、シロウオを少し意識できるといいです。本当にありがとうございます。

古野 真也

多々良川は、僕の住む家から徒歩十分。そんな身近な場所にシロウオという魚がいるとは思いませんでした。富永さんの話によると、昔は沢山いたシロウオがあまり多々良川にいないそうです。来年には川いっばいのシロウオが見たいと思いました。

竹下 葉子

先日は多々良川の事について教えて下さりありがとうございました。私の中では多々良川は汚いイメージしかなかったのですが、新しい発見となりました。私達は旅行等するけど地域の事もよく知らなかったんだなあ…と実感させられました。楽しい一時間でした。本当にありがとうございました。

堀田 詠里

社会人講話の時は多々良川の事、シロウオの事をいろいろ教えて頂きありがとうございました。私にはまだ少し難しくってよく分からない部分がたくさんあったけど

きるんだなあーと思ったり、もっと水は大切に使うと思ったりしました。

石田 敦

先日はシロウオについて教えて頂きありがとうございました。富永さんのおかげでもっとシロウオについて知りたくなりました。本当にありがとうございました。

久芳 朱音

今日はお忙しい中、お話をしに来て頂きありがとうございました。私は多々良川にシロウオを呼び戻す会等があるなんて知りませんでした。私も多々良川がきれいになりシロウオが戻ってきてほしいです。

多々良川流域交流記

参加しての「よるいび」

リバーナース 天本 豊子

機関誌「来いー来いーシロウオー」恒例の編集会議を

色々と多々良川の事を知る事が出来ました。本当にありがとうございました。

猪俣 秀斗

色々なお話ありがとうございました。シロウオの事や多々良川の事を詳しく教えて頂き勉強になりました。お忙しい中、本当にありがとうございました。

佐久本 雄大

先日はシロウオの事をたくさん教えて頂きありがとうございました。これを勉強した事で多々良川をきれいにしたいと思っています。

シロウオとシラウオの違いやシロウオを川に戻そうとするための努力がすごいと思いました。

川波 飛真

富永さん、十一月五日の社会人講話来てくれてありがとうございました。富永さんの話を聞いてシロウオや他の魚もどりつつあるという話を聞いて、やれば何でも

行い、会長夫人には、度々にお手数のお話をかけしている。昨年は、お嬢さんの章子さんも編集委員で出席、分担の中で「シロウオ12号」には、朝な夕な多々良川そばの高台から、潤い流れる川の水音に、楚々とした美しい心をよせられ、その思いを静かに豊かな感性の诗情で綴られていた。今日のように、一年で一番美しい早月のひとときが蘇り、ご冥福を祈りながら、新しい気持ちで「13号」に取り組む。

自然の摂理のなかで、大地に注ぐ川の恵みを尊重し、川の理念を大切にして、みんなで清流を守り、美しい川で潤い、愛する川を学び、多くの人が楽しみ参加して流域をつなぎながら、川の魅力で英気を養い、健やかに育つ子供たちと一緒に、やすらぎの自然体験で川を知るよるこびを共有し、さらにより良い団子をめざし多くのの人に読んでもらいたいと願っています。

東区交流事業は、川を基点として、まちづくりの一環で夢プラン委員会が実施され、多くの住民参加で行政と学識専門家、技術者を交え助言や指導をうけながら、各々のキャリアの意見も出合って共に育ってきた。一年間は貴重な勉強会で、流域の人々との交流も含め学びの収穫

魚 影

- 今年の3月26日の観察会では小石の裏側に産みつけられた卵塊を8カ所見つけた。昨年と比べると大いに期待が持てた。当会顧問の松井先生の産卵調査の結果を注目していた。期待通りに3年前と同じで100万匹以上が遡上してきたという結果に大喜び。この他に産卵場の自然界の食物連鎖の頂点にいる野鳥達に捕獲されたシロウオの数を加えるとかなりの数になるだろう。来年に期待する。
- 水温の上昇も昨年より早く、つれてカモメも結構沢山産卵場の河川に飛来していたので期待はしていたのだが、卵塊数52万という数字に胸をなでおろした。一卵塊に平均500個の卵があるので、全部孵化すると2億6千万匹が少なくとも誕生した計算になる。
- 一昨年に策定された東区役所の基本計画の一項目に多々良川の自然環境を生かしたまちづくりの一環としての数値目標にシロウオ100万匹以上が産卵の為、遡上すると表記された数値目標を、今年はクリアしている事になる。今年誕生したであろう2億6千万のシロウオのうち1%が来年戻ってくるとすると260万匹だ。
- 多々良川の清流を守る会により、多々良川に鮎もよび戻そうという活動も活発化してきて、今年度津屋堰の右側に新たに魚道の整備も始まった。上流の広田あたりで鮎釣り出来るようになる事も夢ではなくなってきている。シロウオの観察用のヤナに時々アユの稚魚が入っていた事があったが、今までの井堰の魚道では水が流れていない事もあり、鮎が上りにくい状況であったものが同会の後藤さんはじめとした多々良校区の方の熱心な請願で河川管理者である県・土木事務所を動かして改善が行われている。春告げ魚シロウオの次には初夏の鮎がハネル川に夢が大きくふくらんで来る。
- この14年間、川添会長の手足となって会計などのお世話をされていた川添章子さんが昨年11月に急逝され、会員一同心より冥福を祈ります。昨秋、生前に庭にまかれていた菜の花の一輪を今年の花まつりに添えました。長年ありがとうございました。

に感謝している。

多々良川流域と地域の豊かな風土、歴史や資源を再確認し、源流から上流、中流、下流、洪水時の流れを防ぐ堰や、河川区域、川の中を「堤外地」、私達が生活している川の外を「堤内地」などを知り、数々の橋を渡り、支流が川への合流地点、川と海との接点の河口辺までの総合的な見学は、あらためて川の流れは歴史的文明を生み、社会を映しているようで、川との調和の近代の川の文化を理解した。

リバースクールでは、川の流れや自然景観、河川環境、水質、生態系（多々良川に生殖する数十種の魚や野鳥類、植物など、貴重な知識を習得した。）

川に関わる治水、利水、水処理設備など、水循環を健全に保つ技術や、科学的施設を見学できた。

多々良川が清流の明かしに小さなアユの姿も見られ、肌寒い早春、桜のつぼみがふくらむ頃、河口での海の水温と川の水温が同じになると、海の沿岸で育ったアユは流れの瀬で石の藻を食べながら、川に遡上してくるようで、多々良の後藤氏は、幼い頃から川に詳しく地元魚博士で逸早くアユを見つけ川が浄化復元している状況を

熱心に語られる。

多々良川の「宝もの」多々良大橋、多々良橋付近の右側河畔の樹木群は、見事な緑の景観をなし、川のもつ環境調和の原風景に浸りながら、流域で活動する各団体の人々とも知り合い、又、中学生たちもいつも参加し、熱心に記録されたビデオ「四季の移り変わり」が完成。水辺を主役として、山も川も海も、人々も、丸ごと盛沢山！中学生たちが学んだ感性と技術は、評価の高い作品となり多くの人々に披露してもらいたいと強く思う。

川を愛し機関と共働しながら、取り組み事業の中で、現場での水辺にふれて、専門家より聞き学ぶことにより「ゆめプランの会」を通し、川や水への関心は互いに疎通を醸しだし、念願のまちづくりは展開。

多々良川流域連携の要が近未来には結ばれる雰囲気を感じている。

川の魅力を知った皆がゆつくりと、じつくりと、知恵を語り、理解の和気藹々の輪で参加し、多々良川には「ゆめプランの会」が光り、川文化の拠点が存在するように思える。

平成18年7月～平成19年6月
シロウオクラブ主な活動計画予定

- 18 / 7 / 10 (月) 機関誌「来い来いシロウオ」第12号発行
 8 / 27 (日) 多々良川夏休みボートレース/河川ゴミ清掃
 10 / 15 (日) 多々良川シロウオ産卵場ゴミ清掃/菜種配付
 11 / 5 (日) 菜の花の種まき
 12 / 12 (日) 菜の花の苗移植
 19 / 1 / 7 (日) 新年交歓会
 2 / 11 (日) 1回目:シロウオ観察会/「ヤナ」かけ/ゴミ清掃
 3 / 4 (日) 2回目:シロウオ観察会
 3 / 18 (日) 3回目:シロウオ観察会
 4 / 1 (日) 第12回シロウオ放生祭&菜の花祭り
 4 / 13 (金) 元九州大学松井先生のチームによる産卵調査(予)
 5 / 6 (日) 菜種とりと菜から焼き
 5 / 27 (日) 機関誌第14号編集会議/産卵結果検討会
 6 / 20 (水) 機関誌第14号入稿



多々良川第11回夏休みボートレース大会

アトラクションで カヌーの練習・試乗もできるよ!
 賞品もいっぱいあるよ!
 お友だちを誘って気軽に参加しよう!

＝ だれでもお気軽にご参加ください ＝

1. と き 平成18年8月27日(日) 午前10時30分～12時
 午後12時～表彰式
1. と ころ 多々良川(松崎橋近く)河川敷(福岡東タイヤサービス裏)
1. 参 加 費 不要 (市民活動保険有)
1. 競技方法 ・ゴムボート=シロウオ号、菜の花号=各2人乗りで競う
 ・2ボート同時スタート、100m折り返し、タイムレース
 ・小中高生チーム、親子チーム、夫婦チーム etc.
 ・小学生以上誰でも参加できます。
 ・1名での参加もできます。
 ・賞品:1位～全員に多数あります。
 ※ジュース・軽食を用意しております。
1. 申し込み方法 ◎当日の飛び入り参加も受け付けします。
 ◎TELで申込みは下記へ

※申込先 671-3050 (川添宅)
 611-2301 (富永工芸)
 691-3767 (多々良公民館)

主 催 / 多々良川にシロウオを呼び戻す会
 後 援 / 福岡誠ライオンズクラブ
 清流を守る会・アンビシャス広場

菜の花音頭

作曲 本間繁義
編曲 高原 勲

2

かぜは そよかぜ なのはなのさと
きよきながれの たたらがわ (サテ)
そらーじゃ かもめーも いわーいまう
今日はたのしい 今日たのしい
はなまつり (ソレ) どんともどれよ
しろうおのむれ ただ たたらと
たたらたたらと のほって
こい

菜の花音頭

作詞 川添豊明
作曲 本間繁義
編曲 高原 勲

一 風はそよ風 菜の花の里
清き流れの 多々良川 (サテ)
空にゃかもめも 祝い舞う
今日は楽しい 今日楽しい花祭り (ソレ)
どんと戻れよ シロウオの群れ
多々良多々良と
多々良多々良と 上ってこい

二 名所史跡の 菜の花の里
川の流れも 清らかに (サテ)
緑したたるオアシスの
桜並木の 桜並木の別天地 (ソレ)
どんと戻れよ シロウオの群れ
多々良多々良と
多々良多々良と 上ってこい

三 銀のジェット機 南に眺め
西に博多のビルを見る (サテ)
町は栄える 700年の
歴史残して歴史残して いつまでも (ソレ)
どんと戻れよ シロウオの群れ
多々良多々良と
多々良多々良と 上ってこい



菜の花祭りの三味線隊

第7条 役員

本会には、下記の役員を置く。

会長	1名
顧問	1名
事務局長	1名
常任幹事	若干名
会計	1名
幹事	2名

第8条 役員の仕事

1. 会長は、本会を代表し会務を総括する。
2. 事務局長は、本会の事務一斉を処理する。
3. 常任幹事は、会長の委嘱により事業を担当する。
4. 会計は、本会の会計事務を処理する。
5. 監事は、本会の会計監査に当たる。
6. 顧問は、本会の諮問に応じる。

第9条 役員会

本会の運営は、役員をもって構成される役員会の決議による。役員会はそのつど会長が招集する。

第10条 役員の仕事

役員の仕事は、2年と定める。但し再任を妨げない。

第11条 施行期

この会則は平成8年10月30日より施行する。

会 員 募 集

当クラブは多々良川の自然を愛する人ならどなたでも入会できます。活動へのご参加希望の方は55頁の申込書までご連絡下さい。

多々良川にシロウオを呼び戻す会及び菜の花を育てる会会則

第1条 名称

本会は、「多々良川にシロウオを呼び戻す会及び菜の花を育てる会」と称し事務局を福岡市東区多々良2丁目52-19の地に置く。

第2条 目的

本会は、多々良川にシロウオを呼び戻し菜の花を育て自然を愛し、環境保護に努めることを目的とする。

第3条 事業

本会は、その目的達成のために下記の事業を行う。

1. 毎年1回機関誌の発行
2. シロウオの観察と多々良川の清掃環境保全
3. 菜の花の種まきとその育成及び国際交流親善促進
4. 菜の花祭り開催及びシロウオの放流

第4条 会員

本会は、上記の目的に賛同する者をもって構成する。

第5条 運営費

本会の事業資金は、会費、賛助寄付金、各種補助金をもって当てる。

第6条 会計

本会の会計年度は、4月1日から3月31日までとする。

編集委員

川添豊明

高原勲

富永靖雄

天本豊子

平成十八年七月十五日発行

発行者

多々良川にシロウオを呼び戻す会
川添 豊明

福岡市東区多々良二 五二一 一〇九
電話(〇九二)六七一 三〇五〇

編集者

富永 靖雄

福岡市東区多の津四丁目三十一 九
電話(〇九二)六一一 三〇一
(※富永工業内)

印刷所

有限会社 サカモト

福岡県粕屋郡久山町山田九〇六一六
電話(〇九二)九七六一〇三五〇